

地方創生推進交付金 効果検証シート

交付対象事業の名称	農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業				
総合戦略における位置付け	選ばれるベッドタウン		事業実施期間	令和2年4月～令和3年3月	
	住みつづけたいアートタウン				
事業の概要	6次産業化を推進し、砥部町の名産品となる新たな6次産品を開発することで、農家の所得向上と雇用の場の創出を図る。				
具体的な取組み			取組みの成果		
【6次産業化支援業務】 ・新たな6次産品の開発 ・6次産品の商品化支援 ・6次産品の認知度拡大 ・6次産品のアンケート調査 ・6次産業化推進全体に関する支援			・広田地域の農産品を活用したピクルス・ジェラートのブラッシュアップ及び新商品開発、試作品販売を行った。 ①既存商品ブラッシュアップ ピクルス 9種→11種 ジェラート 16種→21種 自然薯プリン、自然薯サブレ、自然薯粉、広田野菜スープ ②新商品 自然薯入りプラマンジェ・自然薯とろろ定食 ③試作品 自然薯入り揚げ蕎麦・自然薯入りかるかん ・6次産業化推進グループ自立に向けた支援等		
【6次産業化推進グループへの支援】 ・6次産業化推進事業費交付金（ひろた地域づくり協議会）			・ひろた地域づくり協議会が、旧広田給食センター内に6次産品加工に必要な備品を整備した。		
事業費内訳	交付決定額	実績額	事業実績経費内訳		
	5,500,000円	5,310,820円	6次産業化支援業務委託料	9,988,000円	
	※1/2国庫補助		6次産業化推進事業費交付金	633,641円	
重要業績評価指標（KPI）	地方創生推進交付金	基準値 （平成27年度末）	実績値 （令和2年度末）	最終目標値 （令和2年度末）	達成率
	県関与年間成約額	89.5億円	174.4億円	153.5億円	113.6%
	えひめ愛媛の農林水産人データベースへの掲載人数	38人	218人	120人	181.7%
	6次産業化の取組み支援件数	237件	163件	260件	62.7%
	砥部町総合戦略	現状値 （平成30年度）	実績値 （令和2年度末）	最終目標値 （令和6年度）	達成率
	6次産品の生産販売品目数	累計3品	累計8品	累計7品	
事業評価	担当課	審議会委員		（評価基準）	
	① 2 3 4	① 2 3 4	1.全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られた 2.KPIの目標値は達成できなかったが、概ね成果が得られた 3.KPIの目標値は達成できなかったが、一定の効果はあった 4.KPIの目標値の達成ができず、効果がなかった		
審議会委員による評価、意見 今後の検討課題等	全てのKPIの数値が目標を達成できており、成果が得られた。今後は農家の所得向上、雇用の創出につながるよう一層のPRと売り上げ向上につながっていくことを期待したい。 コロナ禍での在庫過剰を逆手に取った商品開発はユニークで、SDGsの面からも価値のある取組であると思う。 広田地域で新たな6次産品を開発されていることは理解し、評価したいが、砥部地区においてどこまで認知度が高まっているか疑問である。今後、範囲を広げた取り組みを期待したい。もっと町内で購入できるようにしてほしい。旧砥部町で「道の駅」「や「マルシェ」など地域の生産者から直接購入できる場があればよいと思う。ネット販売なども検討してほしい。 学校給食でも提供できる体制をとってほしい。今後は、柑橘を使用した加工品を開発し、砥部町でしか味わえない商品開発を他部門と協力し、提案していければよいと考える。 JAえひめ中央新規就農研修センターでは、県外からの研修生も多く、果樹を研修する方もいる。砥部町は柑橘産地であるため、空き家バンクとマッチングさせて、研修終了後を見据えた交流ができる体制が取れればよいと思う。				